

第1回越生町立小中学校二学期制継続検証委員会議事録

令和3年12月11日（土）14:30～

1 開会（事務局）

2 委嘱状交付（教育長）

3 あいさつ（教育長）

4 事務局より（事務局）

5 協議

○ 「二学期制の実施状況並びに成果及び課題について」を資料の内容を、事務局が説明

○ 主な発言内容

委員1

- ・ 子供の立場において、11月半ばから12月は日が短くなるが全学年5時間授業で対応しているので、安全面への配慮ができています。
- ・ 通知表が年2回であり、通知表作成のために短縮授業が少なくなり余裕をもって授業を進めることができている。時数にゆとりがないと、授業を端折ったり、焦って進めたりすることがあり、結果的に子供の理解不足にもつながる。
- ・ 教師の立場においては、通知表作成時はどうしても時間を要するため、夜遅くまで（学校に）残ることがある。通知表作成が1回減ることで、教師の働き方改革にも繋がってくる。

委員2

- ・ 越生町に来た当初は二学期制を経験したことがなかったので不安もあったが、全くそのような必要はなかった。授業時数にゆとりがあるため、圧倒的に体験活動が充実している。他市町では体験活動を縮小している一方で、越生町は授業時数も確保され、体験活動もしっかりできている。体験活動は、教科書では学べないことが学べ、この学校の素晴らしさを実感している。
- ・ 授業時数も、給食回数も、他市町と比較してもしっかり確保されている。そのおかげで、子供たちも教育活動にしっかり打ち込んでいる。
- ・ 梅園小学校では、後期の金曜日を5時間授業にしている。そうすることで、職員会議や教材研究の時間が確保されており、ひいては子供たちに還元できている。

委員3

- ・ 一番は、授業時数の確保だと考えている。今現在、午前中4時間、午後面談行っている。5日間×2時間、合計10時間取られてしまうが、その時間が負担にな

らないくらい時数が確保できている。

- ・ 夏休み前、本来であれば通知表作成で、成績を出したり所見に時間を費やしたりすることになる担任が、子供たちと面談する時間をとることができる。入学してからの6カ月を振り返ったり、夏休み明けの面談では夏休みの努力や進路の状況等を丁寧に見とったりすることができている。
- ・ 職員に関しては、朝部活動等の関係で7時前に出勤し、夏場では6時まで部活で子供たちを見て、そこから授業準備したり小テストの採点をしたりすることで、帰りが8時9時になっている職員が大勢いる現状がある。12月に通知表作成がないことで、職員にゆとりができており、それが子供に対応する時間に繋がっている。
- ・ H19、二学期制一年目に越生中にいて3年の担任をしていた。その時は、教員として、違うなど正直感じた部分もある。子供や保護者が、他の地区との違いや自分自身との経験の違いに違和感を感じるのは、もともとであり、気持ちの部分が一番の課題。生徒の中でも、受験を控え他の学校の子供と塾での関りがあり、他の学校の子が1学期のしっかりした成績表を夏の高校説明会に持っていっているのに対して、越生中のは夏休み前成績表であることに対して、不安を持っている子がいるのは否めない。しかし、それで高校から「こういう風に言われてしまいました」ということは、今のところ聞こえてこない。

委員25

- ・ 私立の説明会等のイベントは、早いところで7月の始めから熊谷で行われる。それらの、進学フェアでは、数字を持ってきた生徒には、目安は伝える。その中には、二学期制の地区の生徒も面談に来るが、通知表がまだ出ていなく、心配する保護者もいる。昨年、一昨年あたりから保護者の動きが早くなっており、本校においては8月の下旬から推薦を出せることになっている。県内の私立高校は、全体的に前倒しの傾向になっている。北部地区の高校では11月にだいたい(面談に)来るのは終わってしまい、12月に面談の予約が入っていない。ただし、10月中旬に出た成績で十分間に合うので、心配しないよう、どの学校にもお話をしている。
- ・ 県内私立40校あり、そのうちの9校が二学期制。慶応志木は1学期制。その理由は、授業時数の確保。西部地区は、4校。来年度から二学期制を導入する学校がある。目的は、働き方改革の一環で、土曜授業を無くし、平日に45分 時間授業することで、子供たちの学力を推進していく。
- ・ 高校の立場において、中学校の二学期制に対する不安や要望は特にはない。

委員12

- ・ 自分は三学期制で育ってきたが、特に違和感を感じたことも、それによる不利益を感じたこともない。逆に、他の学校がなぜ三学期制をやっているかが分から

ない。他の地区はなぜ三学期制が続いているのか。県外、東京等で二学期制をやっている学校があるのは聞いたことがあるが、そういう情報が知りたい。

- ・ 校長先生方の話を聞いて、子供も充実していて、先生方もうまく回っているのであれば、凄く良いことだと感じている。
- ・ 県内で二学期制をしているところが少ないのであれば、越生町がやっていることを全面的に特色として出して、越生町に引っ越したいと思う人が出ると良い。もっと成果をアピールしてほしい。

→ 事務局より説明

熊谷、戸田市の一部、春日部市の一部。三学期制を継続している理由は、把握していない。しかし、二学期制から三学期制に戻したのは、毛呂山町・鶴ヶ島市。検討委員会を行っているが、主な理由としては、通知表が3回欲しい、周りが三学期制だから。他県では、千葉市、宇都宮市、つくば市、仙台市。資料は用意することはできる。下妻市は、今後二学期制にしていく。その情報もリサーチしていく。

委員 4

- ・ 通知表作成には、1カ月前から準備が必要。7月の終わりに渡すなら、7月の頭には準備を開始する。学校は、授業だけでなく、行事もある。体育祭の組体操の完成にはだいたい10時間。それ以外の種目等に、10時間かかる。そこで、20時間は時数を取られる。その中で、水泳等が入ってくると、時数の確保は難しくなる。
- ・ 越生町では、7月の最終日まで給食を実施。他の学校では、短縮している所を、短縮せずに5時間目まで授業することができる。12月も、同様。6年生で言えば、卒業アルバムの作成は年内。そういったことでも、余裕をもって対応することができる。
- ・ 夏休み中の子供たちに対する課題の持たせ方としては、中学校と違い、定期テストがないので、テストの細かな点数、県・国の学力調査などの課題を保護者に通知している。それを基に、夏休み中でも課題に対応できると感じている。
- ・ 具体的な数字の話をする、学習指導要領に示されている標準時数と学校で計画した教育課程の時数の差を余剰時数というが、今年度6年生は26時間ある。6時間授業、4日分に相当し、インフルエンザ等で4日間学級閉鎖になったとしても問題はない。この余剰時数は、他の市町村では考えられない。令和4年度は、20時間程度であるが、坂戸市では10時間程度。本校は、冬期5時間授業にしてもこれだけ確保できているのは、子供の安全面に関しても授業時数に関しても、しっかりとれている。

委員 13

- ・ 課題は挙がっているが、二学期制は学校の問題であると思うが、子供たちに良い

環境であり、豊かに成長していけるかを考えると、学校・家庭・地域も含めて子供たちは育っていくと思う。ここに上がっている課題は家庭で対応できるような課題に見えてくる。「はじめがつかない、夏休みの学習等は成績があった方がやりやすい」というのはそうかもしれないが、家庭でも取り組み方で対応できるのではないのかと思う。先生方も言っているが、ゆとりが生まれて子供たちと向き合えるというのは、一つのメリットとして上がるが、一つと言えないような一番大きなメリットだと思う。

委員 1 4

- ・ 今回委員を引き受けるにあたって、校長先生に二学期制についてご説明頂いた。今までは、深く考えず他の保護者と話をする中で、不満な声も聴いていたが、二学期制の素晴らしさを、保護者にアピールできたら良いと思っている。不満の声も、変わってくると思う。

委員 1 5

- ・ 三学期制から二学期制に代わって色々聞いていて、二学期制って良いなという印象しかない。二学期制で良かった。

委員 1 6

- ・ 時数が確保しやすく、余裕が持てると聞いて、越生の子供たちや先生方が生き生きしているのはそういうことなんだと分かった。
- ・ 中学校に子供がいるが、二学期制になることでテストの範囲が広がるというのが、どうなのかとは思っている。三学期制の学校は、刻んで勉強できるから、点数が取りやすいと聞いている。特に、期末の9教科をテスト範囲が広いと大変と聞いている。
→ 事務局より説明
次回の会議で、テストの絡み等の資料を提示できればと思っている。

委員 6

- ・ 三学期制では、一般的にテストは5回。1学期、中間・期末。二学期、中間・期末。三学期、学年末。しかし、本校に着任し、テストの日程を確認して感じたことは、さほど二学期制と変わらないという印象。1学期の中間テストが無くなり、1学期の期末テストが夏休み明けにある。子供からすれば範囲は長くなるが、期末のテスト範囲は夏休み前に配るので、考え方によっては、三学期制の学校に比べるとかなりとれるという印象。三学期制の学校の時の感想は、「もう中間だ…もう期末だ」という感じに子供も先生方も追われている感じであった。あくまでも、私個人の感覚だが、たった1回のテストではあるが、そんなに大きく変わらないという印象。1回のテストを無くすことにより、1回の授業に腰を据えてのぞめると感じる。期

間が短いと、「そこまでに範囲を終わらせなくては」となると、どうしても駆け足になってしまうのは否めない。

委員 5

- ・ 小学校は单元ごとにテストを行うので、テスト関係で支障が出ることはない。
- ・ 越生町に17年勤めているので、卒業生や保護者から、入試に関する心配の声は聞こえていた。二学期制になった当初から、中学校の方が心配な声はあったと思うが、不利益がないように町からの配慮もあったり、高校においても不利益がないように対応してくださったりしていることが直接聞けて安心した。
- ・ 子供が鶴ヶ島の小学校に通っているが、6年生は木曜に7時間授業を行っており、そこでクラブや委員会活動を行っている。三学期制を行うにあたって、7時間目を作った学校は結構あることは聞いている。休み時間を削って、時間を生み出している。越生小・梅園小では、休み時間もしっかり確保されているし、7時間授業をする必要もないし、子供たちはゆとりをもって生活できているのは間違いないと感じている。

委員 18

- ・ 15年前に越生小学校に教諭でいた。その後、坂戸に行ったが、時数が確保され余裕をもって授業ができるのは大きなこと。三学期制を行っているどこの学校も、様々な工夫をして時間を生み出しているが、二学期制ではしっかり確保されている。梅園小学校では、色々な体験が全学年でできていることが、本当に素晴らしいと感じている。これは、二学期制のおかげであり、体験を通して心豊かに成長している。

委員 17

- ・ 二学期制の良い所しか出ていない。
- ・ 二学期制を経験した人が数年後に親になるので、そこで、課題などがはっきりするのではないか。
- ・ メリットばかりでデメリットはないのか。
- ・ 子供たちは、全く分かっていないし、気にしていない。
- ・ 三学期制から二学期制になる学校が増えたのは、残念。メリットがあれば、もう少し増えるのではないか。
- ・ 働き方改革から考えると、先生方は大変なので、あまり負担がない方が良い。部活も、外部委託できるようになる。

委員 19

- ・ 二学期制が良いと感じている。なぜ、二学期制から三学期制に戻したか、その理由が気になる。

- ・ 昨年まで、子供も学校に通っていたが、子供も親も困ったことはないし、疑問もない。
- ・ 子供たちは経験していなので分からないので、先生方が良いと感じるのであれば、このままで良いのではないかと思う。

委員 2 6

- ・ 保護者の皆様の話を聞いて安心した。
- ・ 夏休み前成績表は、希望なのか全員なのか。
→ 事務局より説明（全員に渡している。）
- ・ 通知表は1カ月前から準備するとのことだが、夏休み前成績表もその期間が必要なのか。
→ 小学校教務主任（委員 4）より説明
夏休み前成績表は、評定ではなくテスト結果表。通知表は、3段階評価。電子化されているので、その都度テスト結果を入力したものを出すだけなので、そこまでは時間かからない。
- 中学校教務主任（委員 6）より説明
前期中間と、通知表作成する上での資料となる、現段階の提出物や小テスト等の結果を加味したもので、夏休み前の段階での評価を5教科5段階で出す。通知表には、そこに担任の先生の所見や生活の中での様子も入るが、そこは記載されていない。

委員 2 6

- ・ 夏休み前成績表をもって、私立の個別相談に行った場合にそれは生きるのか。
→ 学識経験者（委員 2 5）より説明
5科だけでなく9教科、評価と欠席日数、教育活動の記録を総合的に提出してもらい、推薦を出している。外部模試も参考になる。1月の年明けまで相談は行っているので、10月中旬に通知表は出た段階で来ていただければ十分間に合う。しかし、他の学校の子供が成績が取れた取れないと言っている段階で、不安を感じるお子様もいると思う。この件に関しては、二学期制に限った話ではなく、三学期制の学校においても技術家庭科の成績が入っていないお子様もいる。そういったお子様も、成績が出てから結果を渡している。
埼玉県私学協会では、同一歩調で行っている。しかし、中学校で実施している公的テストを参考にしているが学校もあれば、扱っていない学校もある。その理由として、テストが同一日に開催されていないため、塾等を介して問題が漏洩している可能性がある。公正公平を保つために見送っている所もある。

委員 2 4

- ・ 二学期制は、公立高校では現状少ない。越生高校においても、二学期制の検討は

していない。

- ・ 高等学校の課題は、中途退学・不登校・問題行動であるが、二学期制・三学期制の指標として、不登校数や教職員の病休の割合等もなりうるかと感じた。
- ・ 授業時間を確保して子供たちがじっくり授業にのぞめるのは素晴らしいと感じた。

委員 3

- ・ 二学期制の公立中学校が全くない都道府県は、群馬県・富山県・石川県・兵庫県・奈良県・京都府・愛媛県・香川県・熊本県。政令指定都市で全部の学校が二学期制を行っているのは、仙台市・川崎市・千葉市・静岡市・広島市。都道府県単位で多くの学校が二学期制を行っているのが、秋田県・栃木県・神奈川県・岐阜県。

委員 2 6

- ・ 中学校の受験の県外私立受験に関して、埼玉県から都内私立を受験するのが不安。県内は私学協会で統一されているが、都内には埼玉は学校側から入っていけない。
→ 事務局より説明
都内私立においても、埼玉県の私立と同様の指導で対応可能となっている。中学校においてもそのように指導を行っている。

委員 2 7

- ・ 年間指導計画にはA・B・C期となっているが、二学期制ではないのか。無理やりなように感じるが。
→ 中学校校長（委員 3）より説明
以前は、前期前半等の言い方をしていたが、便宜的にその名称を使っている。時間割に関しても、3期で組み替えている。

委員 2 7

- ・ 土曜授業に関してだが、子供は学校だけで育っているわけではなく、家庭や地域で育っていく。土曜授業日に、クラブチームや習い事等があり、どちらを選んだらいいか悩んでいる声がある。
→ 中学校校長（委員 3）より説明
土曜授業に、別用が重なった場合は公欠扱い（出席扱い）にしている。

委員 2 7

- ・ 以前、「夏休み前の仮成績表では個別相談で見てもらえなかった。前期が終わる10月まで枠を取っておくことはできない。」と言われたという話を聞いた。
→ 中学校校長（委員 3）より説明
入試に関して、委員 2 7さんが言うような不利益を生じた件が本当にあるので

あれば、県の中学校長会で問題にさせていただく。具体的に言って頂ければ、すぐに問い合わせる。

→ 学識経験者（委員 25）より説明

まずそういったことはないと思う。スポーツ推薦枠において、クラブチーム等で早い子になると、2年生の段階で話がついているケースもある。自分の息子の例でいうと、二学期制の学校出身で、県内の私立に野球推薦で入れていただいたが、10月の成績で十分対応していただけた。枠自体は6枠であったと聞いているが、不利益になるようなことは一切なかった。もし何かあれば、具体的な校名を挙げていただいて、校長会等で話題にさせていただければと思う。

委員 28

- ・ 学習面等での心配はないが、二学期制になって戸惑うこともあった。
- ・ 前期後期の切り替えが難しく、ピンとこない。

委員 7

- ・ 今年鳩山から来て不安もあったが、時数が確保されていて、担任としては柔軟な対応が可能になっている。新学習指導要領になり、英語がプラスされたりして授業時数は増えているが、子供の学校に来る時間は変わらない。鳩山では週二日7時間授業をやってきた。7時間授業を行うために、休み時間を削ったり、清掃を削ったりした。午前中4時間授業をやり、給食を慌てて食べて、午後3時間授業を行うが、子供は疲れて、いくら工夫しても集中力も持続しない。越生町では、安全面も配慮して5時間授業となっており、時間は確保されているので、子供たちは、給食を食べ、掃除をして、1時間授業して帰れるので、集中力の持続も違う。
- ・ 算数で10時間で取り組む場合であっても、そこにテストの時間は配分されておらずその時間を捻出するのは難しいが、今年はすごくスムーズ。また、実態によってはもう1時間時間を取りたいこともあるが、以前は時間に追われて難しかった。しかし、越生では最終日まで時間が取れて4時間授業もできるので、子供にとっても教師にとってもゆとりをもって取り組むことができている。
- ・ 三学期制の学校から来て、夏休み前で1学期が終わらないことや前期終わって3日後に後期が始まることに違和感があったが、慣れている子供にとっては何も違和感なくすんなり対応できている。

委員 8

- ・ 越生に来て感じることは、子供たちと先生方がギスギスしていない。これは二学期制によるゆとりなのかと感じている。
- ・ 通知表や会計処理が1回減るだけでも、教材研究・授業準備の時間が増え、その分子供たちにも授業の充実として還っていくと感じている。
- ・ 前任校で6年生担任していた時は、通知表の時期10時頃まで残っていた。越生

に来てからは、6年生担任で通知表の時期であっても、7時頃には帰れる。

委員 9

- ・ 昨年度、坂戸から来てお世話になっているが、余裕をもって授業や行事を行うことができ、生徒の笑顔を多く見ることができている。
- ・ 3年生の子供たちとの会話の中では、周りの地区が三学期制なので、三学期制に憧れを持っているのかなという声を聴いたりもする。ただし、実際に両方を経験していないので、どちらが良いとは言えない。

委員 10

- ・ 昨年度の、町長・教育長の意見交換会で二学期制はどうかと意見があった。その時にも同様の説明を伺って、そのあと特に保護者からの問い合わせもない。
- ・ 自分も二学期制を経験したことがないが、子供の様子やみなさんのお話を聞いていると二学期制が良いのかなと感じた。
- ・ まだ会は続くが、この内容を周知していければ良いのかなと思っている。

委員 11

- ・ 授業時間にゆとりが持てて学力が伸びていくのは良いことだと思う。さらに（2学期制を）充実させ、他の地域に発信して、越生町の学校への入学希望者が増えれば良いと思う。

委員 24

- ・ 二学期制の越生から三学期制の学校に行った先生の感想が聞けるともっとわかると思う。
→ 事務局より説明
次回の会議で、資料を提示できればと思っている。

委員長

- ・ 次回の会議で、年間の行事予定の定期テストとほかの行事との絡みがわかる資料と、三学期制の学校に行った先生の感想等がわかる資料の提示をお願いしたい。
→ 事務局より説明
了解した。

6 その他（事務局）

7 閉会（副委員長）